

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月5日更新

事務事業名		家族介護交流事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	橋村 綾子
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法合志市高齢者の家族介護支援実施要綱	
		介護	11	2	5	10485		成果優先度評価結果	
								コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続、向上を図る。高齢者を介護している家族や近隣の援助者等に対して募集を行う。国の補助事業として平成12年度より実施。介護者の心身リフレッシュと介護情報の提供を目的とする。旧合志町では行っていなかったが、旧西合志町では行っていたので、すりあわせで合併後も行っている。介護保険制度により、介護サービスがさまざまなサービス提供機関によって行われている。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	事業については合志市社会福祉協議会に委託する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	同じ境遇にある方との交流はとても勇気づけられる。介護を受ける本人も同行することができるので、とても助かっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
社会福祉協議会が介護者を対象に日帰り旅行を行う事業に対する委託料。	高齢者を介護している家族の心身のリフレッシュのため、介護から一時的に解放し、日帰り旅行などを活用した介護者相互の交流会を開催。事業は合志市社会福祉協議会に委託。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 日帰り旅行の開催数	回
イ 日帰り旅行の開催数参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
介護認定者や高齢者を介護している家族	ア 介護認定者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
介護認定者や高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図る。	ア 身体的、精神的、経済的負担の軽減が図られた人数 人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア 回		2	2	2	2	2	2	2	
	イ 人		40	27	40	55	40	40	40	
② 対象指標	ア 人		1,620	1,831	1,680	1,850	1,710	1,710	1,710	
	イ									
③ 成果指標	ア 人		40	27	40	55	40	40	40	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	133	172	123	123	97	97	97
		都道府県支出金	千円	66	86	61	61	48	48	48
		地方債	千円							
		その他	千円	62	86	61	61	48	48	48
		繰入金	千円	67	87	61	61	66	66	66
		一般財源	千円							
人件費	(A) 事業費計	千円	328	431	306	306	259	259	259	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	4	1	1	3	1	1	1	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	38	20	20	35	20	20	20	
	(B)人件費計	千円	152	79	79	144	82	82	82	
トータルコスト(A)+(B)		千円	480	510	385	450	341	341	341	

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	家族介護交流事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 医師、家族の意見交換会では、参加者からよかったとの声があった。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 介護認定者や高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、事業を継続して行う必要がある
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 介護認定者や高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、事業を継続して行う必要がある
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 家族介護交流事業を他で実施していない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業内容を工夫し、委託料を軽減する。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託で行っているため
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委託で行っているため
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委託事業であるため。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

これまでのような旅行だけでなく、意見交換会等も行うことで、情報交換できるような事業にしていこうと、家族のリフレッシュにつながる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						